

外洋総務委員会 議事概要

2013年12月12日

文責：鈴木保夫

日時：平成25年12月12日（木）18：30～21：00
場所：株式会社トーヨーアサノ3F会議室
出席者：児玉常務理事、中澤理事、鈴木委員長、田口委員、中里委員、
寺澤JSAF事務局次長
合計6名

議事概要

1、理事会報告

- ・団体負担金を3年以上滞納している団体の扱いは以下の通りとなった。
 - ①トーネード協会→休眠とする。
 - ②外洋西内海 →1年分が支払われたが、それ以外の支払いについては1月19日に開催される西内海の会議にて決定されるとの報告が西内海よりあった。
 - ④八重山ヨットクラブ →レースを主催しているので支払うとの回答があった。
- ・水域理事の水域の一部変更について、意見があった
西内海は内海と同じ水域、別府フリートは九州に組み入れ等の意見があった。
- ・最近事故が頻発している。危機管理マニュアルのワーキンググループを設置する。

2、外洋艇推進グループの予算執行状況について

現在の執行状況に、今後予定される収支を追加した児玉常務作成の推移表について検討し、修正した推移表を作成した。

3、艇登録情報の on Breez へ開示のタイミングについて

- ・現在 on Breez への up が1年近くかかっているのが、来年から早く up 出来る方法を検討する。
現在入金状況を確認するのにJSAF事務局が加盟団体の事務局と確認を取りながら行っている。その結果時間が掛かり遅くなっているため、特に艇数の多い外洋加盟団体については事務担当者の協力を得て、入金報告を早く行ってもらう時間の短縮を図る。

4、Offshore、NORC ニュース、NORC の航跡 のデジタル化について

- ・現在デジタル化作業を行っているが、費用が約110万円かかる予定。

これらの費用は各加盟団体へ負担金を求め、不足金については寄付等で賄う。
各加盟団体及び寄付をされた人にはデータをCDで頒布する。
詳細は2月1日に函館で行われる外洋会議にて説明し、費用の分担について決定する。

5、その他

- ・2013年のジャパンカップの開催地候補に関しての経緯が説明された。
外洋三崎、外洋三浦、リビエラの共同主催で開催する予定である。
- ・事故が起きた時の情報が整理されていない、会員の「知りたい」要求に対応できるように、公表できない情報と出来る情報を整理して公報する機能が必要ではないか。
- ・理事会の報告として、JSAFの保険の見直しを検討する報告があった。
- ・SASインストラクター講師養成講習に平井理事を派遣する予定。
- ・外洋合同委員会に若い人が参加し易いように支援する。

以上